



Maximilian Büsser
マキシミアン・ブッサー

ミラノ生まれ、スイス育ち。1998年に弱冠31歳で、ハリー・ウィンストンレアタイムピースの社長に就任。2005年自らの会社MB&Fを設立。夢を追うべく、邁進している。

**創造性と技術力からなる
クリエイティブ集団の誕生**

3年間で100個しか生産されない時計は、このプロジェクトのためだけに集められた20名からなる最高水準の技術をもった独立時計師たちによって生産される。長さ64mm×幅49mm×高さ14mm オロロジカルマシーン No.1 ¥17,900,000(予価)/マキシミアン・ブッサー & フレンス (アワークラス 銀座店) ほかにホワイトゴールド(予価 ¥18,200,000)も。2007年1月発売予定

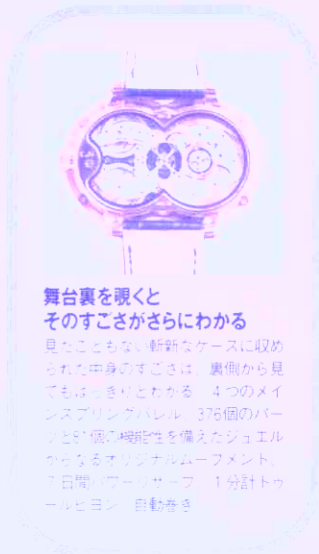
**想像力をかき立てる
エモーショナルな官能時計**



し ゃれじゃなくて、驚きのオロロジカルマシンを製作したブッサーさんは、子どもを心で忘れずに大人になった人である。ハリー・ウィンストン社長時代には、総売上高9000%アップという業績を残した。にもかかわらず彼はそこを去り、新たなフレイクラウンドを作り出す。それがマキシミアン・ブッサー & フレンス(彼と彼の友達という新会社である。それは「アンチDNA」であり、時計はまったく新しいコンセプトから発想して作られるという。その挑戦的な思いを30分以上にもわたって熱

く語ってくれたあと、ようやく時計が登場。弊誌編集長は「永遠を意味する、無限のようた」と感動し、私は「太鼓のようた」と思った。皆さんがおっしゃるとれもか正解です。見た人に自由に発想してほしい」とこやかに語る。

会社名につけられた「&フレンス」の、21番目の人物であるサアワークラスシャパン社長井敷さん。日本の取り扱いには勇気がいったと思われるが、そうでもないという。チャレンジャーというのは、子どものような冒険心をもった人たちのことなのかもしれない。



**舞台裏を覗くと
そのすごさがさらにわかる**

見たこともない、斬新なケースに収められた中身のすごさは、裏側から見てもはっきりとわかる。4つのメインスプリングバレル、376個のパーツと81個の機能性を備えたジュエルからなるオロロジカルムーブメント、7日間のパワーリザーブ、1分計トゥールビヨン。自動巻き。